

1-5.

データ管理計画をめぐる国内外の動向



データ管理計画策定の義務化

国際的に、助成機関等が助成の要件として、データ管理計画の策定を求めるようになってきている。

例

1-2, 1-3, 第4週も参照

英国 <http://www.dcc.ac.uk/resources/policy-and-legal/overview-funders-data-policies>

欧州 http://ec.europa.eu/research/participants/data/ref/h2020/grants_manual/hi/oa_pilot/h2020-hi-oa-data-mgt_en.pdf

米国 <https://doi.org/10.6084/m9.figshare.1367165.v8>

日本 JST CREST・さきがけ等(平成28年度～) http://senryaku.jst.go.jp/teian/koubo/data_houshin.pdf
オープンサイエンス方針 <http://www.jst.go.jp/pr/intro/openscience/>

メモ

データ管理計画策定の支援

海外では、助成機関等からのデータ管理計画策定義務化方針を受け、機関による研究データ管理サービスの一環として、大学図書館がデータ管理計画策定の支援に取り組む例が見られる。

例 1 バージニア大学 <http://data.library.virginia.edu/data-management/>

例 2 エディンバラ大学 http://www.ed.ac.uk/files/atoms/files/rds_booklet_may2016.pdf

例 3 ケンブリッジ大学 <http://www.data.cam.ac.uk/support>

例 4 アムステルダム大学 <http://rdm.uva.nl/en>

メモ